

2026年2月19日
SCSK株式会社

マネックス証券株式会社向け「米国株取引サービス」システム導入のお知らせ ～共同での証券業務システムプラットフォーム事業 初事例～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)と株式会社トレードワークス(以下 トレードワークス)は、共同でマネックス証券株式会社(以下 マネックス証券)の米国株式システムを導入し、2026年2月17日に稼働しました。本プロジェクトは、2024年6月に締結したSCSKとトレードワークスの資本業務提携後、初めて両社の強みを結集して完遂した大規模プロジェクトとなります。

1. 背景

政府が推進する「資産運用立国」の実現に向け、新NISAの普及とともに個人投資家による米国株投資への関心は急速に高まっています。こうした中、投資家からはより高度な取引体験や、米国市場の動向に即応できる利便性が求められています。マネックス証券が提供する米国株取引サービスにおいても、さらなる操作性向上および抜本的な機能拡充が必要とされていました。本リニューアルでは、投資家の要望を反映したUI/UXの大幅改善と、将来的な米国市場での「24時間取引化」にも柔軟に対応できる次世代プラットフォームの構築を目的として、米国株取引サービスの全面的な刷新を実施しました。SCSKとトレードワークスは2024年6月19日に資本業務提携契約を締結しており※1、本プロジェクトが資本業務提携後、初の提供となります。

※1 <https://www.scsk.jp/news/2024/pdf/20240619.pdf>

2. 本プロジェクトの意義

米国株式取引システムは、複数通貨の資金管理、海外市場とのリアルタイム接続、複雑なコーポレートアクションへの対応など、他の金融システムと比較して高度な専門性と技術的対応力が求められる分野です。本プロジェクトでは、SCSKの基幹システム構築における高い信頼性・安定性とプロジェクト推進力、トレードワークスの豊富な業務知識、フロントエンドの開発力を融合することで、以下の点において高付加価値なシステムを実現しました。

(1)円貨・外貨を意識させないシームレスな取引環境の実現

日本円および米ドルといった異なる通貨間の資金管理をリアルタイムで連携させる仕組みを構築しました。これにより、投資家は事前の為替振替を行うことなく、日本円口座から直接米国株式の売買が可能となり、取引機会を逃さない利便性の高い取引環境を提供しています。

(2)将来的な市場拡大を見据えた高い拡張性の確保

本システムは、成行・指値・逆指値といった基本的な注文機能に加え、連続注文、ツイン指値注文、リバース注文、トレールストップ注文など、多様な投資戦略に対応可能な自動売買機能を備えています。また、当日限り、週末指定、日付指定、最長90日までの注文有効期限を組み合わせることで、投資家は取引時間中に常時相場を監視することなく、あらかじめ設定した戦略に基づいた効率的な取引が可能となります。さらに、本システムは、米国取引所において検討が進められている「24時間(23時間)取引」への対応を視野

に入れた拡張性の高いアーキテクチャを採用しています。取引時間や市場構造の変化に対し、柔軟に対応可能な基盤を整備したことは、今後の米国株市場の拡大に伴うさらなるサービス拡充や、証券業界における高度なシステムニーズへの柔軟な対応も可能です。

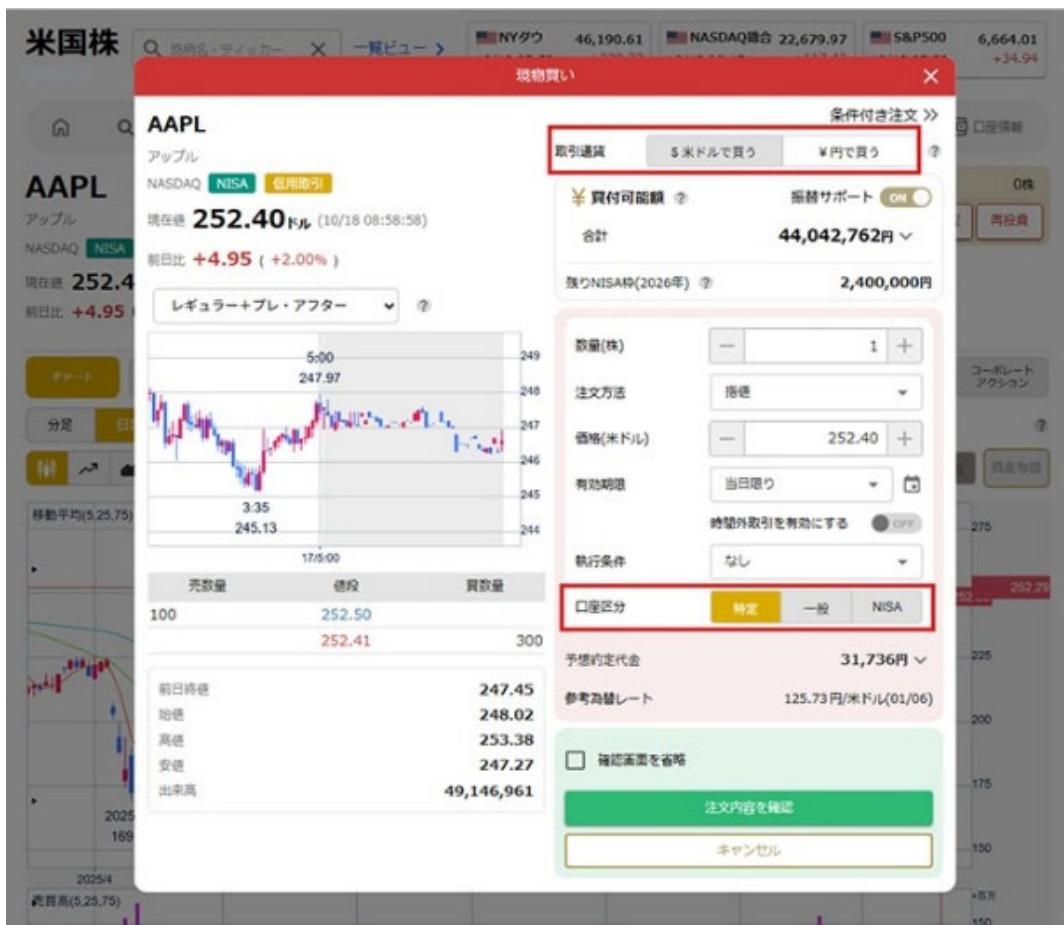
3. 主なリニューアル内容

リニューアルにおけるポイントは以下の通りです。

- ① 米国株取引画面の全面リニューアル
- ② 米国株信用取引の機能の大幅拡充

① 米国株取引画面の全面リニューアル

日本株取引画面と似たデザインにリニューアルし、投資を始めたばかりの方でも分かりやすく、簡単に取引できるようになりました。MY PAGE の「米国株」メニューから、米国株残高の照会や取引がシームレスに行え、「銘柄スカウター米国株」の情報も取引画面から閲覧可能となります。



② 米国株信用取引の機能の大幅拡充

米ドル保証金と米ドル預り金の振替なしで、資金管理がより行いやすくなり、注文機能も大幅にアップデートしました。さまざまな条件付き注文に対応した上で、期間指定注文の期限を延長します(最大 90 日間まで指定可能)。

	リニューアル前	リニューアル後
保証金振替	米国株口座内の米ドル預り金 ⇄ 米ドル 保証金の振替が必要	米国株口座内の米ドル預り金 ⇄ 米ドル 保証金の振替不要
保証金代用円貨 ^(※2)	非対応	対応
注文方法	成行注文 指値注文 逆指値注文	成行注文 指値注文 逆指値注文 連続注文 ツイン指値注文 リバース注文 リバース+ツイン指値注文 トレールストップ注文
注文の有効期限	期間指定注文不可 当日限り	期間指定注文可能 当日限り 週末指定 日付指定 90日注文

※2 米国株信用口座を開設済みの場合、米国株口座内の日本円を所定の掛目および為替レートを用いて保証金評価します。

4. 日程

リリース日: 2026年2月17日

マネックス証券株式会社からのコメント

マネックス証券は08年から米国株取引サービスを提供してきました。業界を先取りしていたこともあり、今までの取引ツールは玄人向けの設計となっていましたが、米国株の取引が増加し新規顧客が流入してくる中、初心者でも利用できる分かりやすさと、使い慣れている顧客も満足できる高機能性を両立させるべく開発に取り組んでまいりました。今回大幅にリニューアルを行い新しい米国株取引サービスの礎を構築することができました。その礎を三社で作り上げられたと思っております。

今後もお客様に使いやすく、満足していただけるサービスを構築してまいります。

マネックス証券株式会社 執行役員 開発本部副本部長 西村隆信

株式会社トレードワークスからのコメント

マネックス証券様は、米国株取引サービスの黎明期より、米国トレードステーション社のシステムおよびブローカレッジサービスを採用し、国内投資家の米国株取引の裾野を広げてこられたパイオニアです。また、多くの国内金融機関に対して取次や仲介サービスを展開するプラットフォーマーでもあります。

このたび、当社システム「TradeAgent」と同社のブローカレッジサービスを連携させることで機能を拡張し、投資家の皆様の利便性向上に寄与してまいります。あわせて、当社システムのAPIをはじめとする接続基盤を最大限活用いただき、マネックスグループのプラットフォーム戦略に資するシステムサービスの展開に努めてまいります。

株式会社トレードワークス 代表取締役社長 斎藤 正勝

SCSK株式会社からのコメント

このたび、マネックス証券様において、SCSK・トレードワークス様共同で構築した米国株取引システムをご導入いただきましたことを、大変光栄に思います。本取り組みでは、SCSKの証券基幹システムに関する実績、安定したプロジェクト推進力と、トレードワークス様の証券フロントシステムに関する知見・技術力が融合することで、市場環境の変化に柔軟に対応可能な米国株取引システムを構築することができました。

今後もSCSKでは、パートナー企業の皆様と連携しながら、お客様の業務価値向上と持続的な成長を支援してまいります。

SCSK株式会社 業務役員 金融システム第四事業本部長 石橋民男

5. 今後の展望

米国株式市場では、取引時間の延長(24 時間／23 時間取引)に向けた動きが進んでおり、特にアジア時間帯における取引需要の拡大が見込まれています。本プロジェクトを通じて、こうした市場環境の変化に対し、柔軟に対応可能なシステム基盤を構築しました。今後、取引時間の拡大やそれに伴うデータ処理量の増加への対応は、中長期的な事業機会になると考えています。

SCSKおよびトレードワークスは、両社のシステムを接続し、マーケットやニーズの変化に対応した自由度の高い証券業務システムへと進化させ、BPO サービスや業務コンサルティングサービスなどを加えた、トータルサービス「証券業務システムプラットフォーム」の構築を共同で推進しております。本プロジェクトで構築した米国株取引システム基盤を皮切りに、本取り組みをさらに加速させて推進します。

<関連プレスリリース>

・米国株取引サービス全面リニューアルのお知らせ|マネックス証券

<https://info.monex.co.jp/us-stock-renewal-2026/index.html>

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

金融システム第四事業本部 営業部 福嶋

TEL:080-6774-6783

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 岡本

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。